

「わが図書館ならではの本！！」

～鹿児島支部 日置市立中央図書館～

書名 「復刻阿寒国立公園の三恩人＋プラス」

著者 種市佐改 編著者 佐藤宥紹 松橋秀和 塩 博文

出版 クスリ凸凹旅行舎

日置市東市来町出身の永山在兼は、阿寒横断道路建設をはじめ、北海道東部開発のための道路新設や改良工事に力を尽くした人物です。

この永山在兼と日本国立公園の父と言われる田村剛博士、さっぽろ雪まつりや阿寒国立公園設立に携わった近藤直人の三人の功績を後世に引き継ぐため、道東観光に力を注いだ種市佐改氏が、昭和59年10月に「阿寒国立公園の三恩人」を出版しました。

初版の出版から約40年後の令和6年3月、復刻版が「復刻阿寒国立公園の三恩人＋プラス」として出版され、このたび日置市立図書館に入りました。

この本には三恩人のほか、阿寒の開発に携わった前田正名（指宿市山川出身）と阿寒国立公園についての論考もまとめられています。

北海道で、困難にめげず、自分を信じ、厳しい道のりを進んでいった薩摩の先人の物語を読んでみませんか。

